岩見沢市立豊中学校　学校教育活動紹介

校長　　竹内　結美

○学校紹介

本校は、昭和 22 年に岩見沢市南西部、幌向地区に設立された。その後、学校周辺は、宅地化が進行し札幌圏や岩見沢市のベッドタウンとして発展してきた。

平成１１年度に校舎増改築工事があり、普通教室や美術室が増築されたものの、その後、生徒数の減少に伴い、学級数は減少してきている。

保護者の教育に対する関心は高く、学校行事への参加等、協力的である。また、地域における文化活動や子どもの健全育成活動にも積極的に取り組んでいる。

生徒は素直で、学習やスポーツに積極的に取り組む生徒が多い反面、基本的生活・学習習慣の定着や、他を思いやる心など豊かな心の育成に一部課題がみられる。

卒業生の進学率はほぼ１００％で、札幌圏の高等学校等への志望傾向も強い。

令和５年度は、「生徒と教職員の Well-being を実現する学校」を目指す学校像として、教育活動を展開している。

○行事や特色ある活動の様子

「よい地域」には「よい学校」があり、「よい学校」をつくることで、「よい地域」が形成される、という理念のもと、豊中学校区学校運営協議会を主体とした行事を推進している。

本年度は、『地域住民出演の学校祭』『地域防災訓練』を実施した。

学校祭は、地域９団体に出演をいただき、キッチンカーによる昼食販売も含めて大盛況のうちに幕を閉じた。

『地域防災訓練』では、70 名を超える地域住民の方にも参加していただき、幌向地区の災害や災害が起きた後の対策について深く学ぶことができた。

来年度も学校を拠点とした三世代の交流の場を創造していきたい。